



真保家の田んぼ



新大コシヒカリ

二十四節気 **立 冬** ーりっとう はじめて冬の気配が感じられる頃
朝晩に寒さを感じます

◎◎ 新潟コシヒカリの行方はどうなるのか ◎◎

宮城県に行った際に新聞の農業分野の欄で、ササニシキに触れた記事を読みました。ササニシキは、誕生から60年。頂点にいたこの品種は、希少品種へと立場が変わり、もうメインストリームにはなり得ない、といった内容のものでした。

ササニシキは繊細な品種で、いもち病(稲の病気的一种)や冷夏に弱く、倒伏がしやすいという点があります。

冷夏と聞いても今は馴染みがありませんが、平成5年の「平成の米騒動」が起きたのは冷夏の影響です。

かつて全国2位まで作付面積を拡大したササニシキは、この平成の米騒動以降、一気に作付面積が減少したようです。

それにより、冷害に強い品種ひとめぼれに作付がシフトしていきました。

しかし、今は希少品種となったササニシキを復活させようとする農家の取り組みや、ササニシキ系のブランド米の栽培への取り組み等、ササニシキを復活させる動きをしているようです。

このササニシキ系のブランド米は、各地区により愛称が異なり、そこは惜しいと個人的に感じてしまう点ですが、記録的な猛暑にも関わらず、90%半ばの1等米比率を確保したようです。

※(ササニシキとひとめぼれを交配した品種。

大崎市産「ささ結」、栗原市産「いくよちゃん」、加美、色麻町産「ささゆた香」となる)



高温に強い新之助

以前のササニシキのように天下を取るような売り方ではなく、**県北を中心とした地域の特産ブランドとして、消費者や料理人に愛される米として認知されていくことを目的**としているようです。

この内容の記事を読み、個人的に**新潟コシヒカリもこのままでいいのだろうかという危機感**を覚えました。

いま、**高温に強いコシヒカリ、「新大コシヒカリ」を新潟大学が開発しています。**

しかし**新大コシヒカリも農家の皆さんが栽培できるまでには、まだまだ時間がかかってくるのでは**と思います。

農家の高齢化や後継者不足、機械の更新等の問題で、農家の数自体も減少してきます。個人農家の皆さんは、**コシヒカリをメインに栽培**をしています。

離農した農家は、**大規模生産者に田んぼを委託**することになりますが、**作期分散や作業性の問題**で、委託先の農家は委託を受けた面積全てにおいて**コシヒカリを作るわけにはいきません。**

これから5年～10年の間で、この問題だけで**新潟県のコシヒカリの作付面積が少なくなってくるのは明確**です。

そして、今年のような天候が続き、**コシヒカリの等級が芳しくない状態が数年続いてしまえば先に述べた理由とダブルパンチで、コシヒカリ以外の品種へ作付が動いて**しまいます。その中で光を見せたのが、**新潟のブランド米「新之助」は、記録にない猛暑・少雨の中97%程の1等米比率を記録**しました。

新大コシヒカリの開発が進むことを願うこともそうですが、そればかりを望むだけでなく、今一度、品種構成や、コシヒカリの栽培方法を見直すことが大切かなと思います。

個人的には、**新潟県はコシヒカリに頼りすぎているところがあると感じているので、コシヒカリと高温耐性のある品種を掛け合わせた品種を開発して、あきたこまちやひとめぼれのような、コシヒカリの派生品種が、新潟県でも何か出てきてくれれば**いいなと思っています。



秋起こしをする農家



飼料となるロールされた稲わら

最高気温が20℃を超える日が、11月に入っても多かったです。今週末から来週にかけては、12℃～15℃程までしか上がらない日が多く、体調管理に気が抜けません。

先月末、家族で妻の祖父母がいる宮城県へ遊びに行ってきました。4日滞在したのですが、全日晴天が続き、過ごしやすかったです。新潟はこの時期、ぐずついた天気が続くので、日本海側と太平洋側の天気の違いを感じました。

自宅から祖父母の住む、宮城県多賀城市は、車で4時間程。8か月の次男がいるので、途中オムツを変えたりミルクをあげたりで5時間ちょっとで到着しました。祖父母は高齢のため、新潟に遊びに来ることはできず、ひ孫の次男と会うのは今回が初めてでした。次男は人見知りせず、祖父母にくっついてニコニコして過ごしていました。

2日目の朝は、私が大好きな塩釜漁港へ家族で朝食を食べに行きました。それぞれの店先で刺身を購入し、ご飯セットを買い海鮮丼にして食べます。

刺身をたくさん購入しても全部で2000円程。安く新鮮なものが食べられるので、大変気に入っています。長男はイクラが気に入ったようで、たくさんご飯にのせて食べていました。この日は美味しい海鮮と一緒に朝からビールを飲んでしまいました。



平日ですが賑わっていました



これだけ買っても2千円!



初めてゾウを見る長男

次の日は家族で動物園に行きました。新潟には動物園が無いので長男は初めての動物園。ゾウやキリン等、大きい動物の迫りに驚いた様子で、とても楽しんでいました。

祖父母の家の目の前は、田んぼが広がっており、稲わらをロールにした家畜の飼料になるものが田んぼに広がって置いてありました。



マグロを運んでいる姿も多く見られました